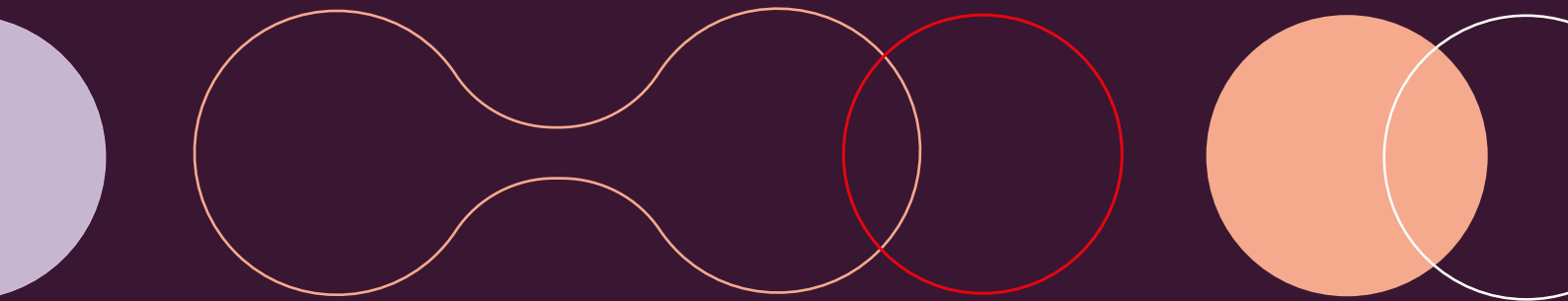




行動規範



当社最高経営責任者 Sami Niiranenからのメ ッセージ



私は、Kalmarの行動規範を紹介できることを誇りに思います。

Kalmarは、物流業界における変化の最先端に立ち、持続可能なマテリアルハンドリング機器とサービスの分野で先駆者になることを目指しています。このビジョンを達成するため、私たちは常に合法的、倫理的、サステナブルに行動しなければなりません。本規範は、Kalmarの全従業員に重要な指針を提供し、倫理的な商慣行に対する取り組みを反映しています。

本規範は、重要な方針をいくつか紹介し、すべての行動の根底にある以下の5つの重要な原則を特定しています。

- 法律や会社の方針を遵守する
- 敬意を持って行動する
- 正直であること
- 自分の行動に責任を持つ
- 声を上げること

順調なときも、困難に立ち向かっているときも、指針となるリソースとして本規範を使ってください。また、本規範に対する違反について疑問や懸念がある場合は、速やかに質問してください。すぐに質問することで、重大な損害から自分自身、同僚、Kalmar、Kalmarの株主を守ることができます。

一挙一動が大切です。Kalmarが成功するための鍵は、チーム内、または顧客、パートナーとの間で築かれた絆であり、そのような絆は信頼、誠実さ、敬意に基づいています。これらの価値観に尽力し、成功を収める持続可能なKalmarを共に築いていただくことに感謝します

Sami Niiranen
Chief Executive Officer
Kalmar



当社の規範



行動規範の原則

行動規範の原則では、私たちの行動の核となる要件を定めており、倫理的文化の中心部となるものです。

法律や会社の方針の遵守

私たちは誠実に行動し、正しいことを行います。私たちは常に法律や規則、行動規範、Kalmarグループのポリシーや手順に従っています。これらが一致しない場合は、より高い基準に従います。

正直であること

私たちはKalmarの最善の利益を考えて行動し、利益相反や非倫理的な商慣行を回避します。私たちは公正、真実かつ透明性があり、高い倫理基準を推進します。

敬意を持って行動する

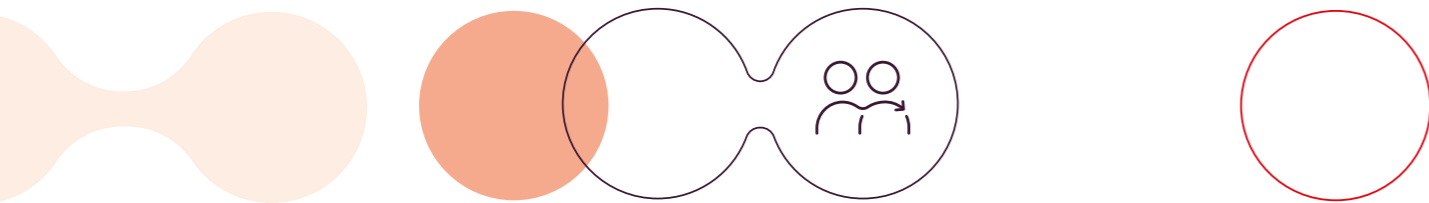
私たちは同僚、顧客、取引先や利害関係者などすべての人に対して、尊厳と公正さをもって接します。私たちは皆、組織を包括的なものにし、人々の多様な見方、背景、特性や知識を大切にする文化を構築する責任があります。

自分の行動に責任を持つ

私たちは自分の責任を理解し、自分の決定と行動に対して説明責任があります。

声を上げること

私たちは誠意をもって懸念を提起し、疑問があれば常に質問します。私たちは、報復を恐れずに懸念を共有できる文化を創り、推進します。





当社の規範

ビジョン

Kalmarのビジョンは、持続可能なマテリアルハンドリング機器とサービスにおいて先駆者となることです。

物流業界は、現代の課題に対応するため変わりつつあります。Kalmarでは、私たちがこの変化の最先端に立っています。私たちはグローバルな展開力を活用して、持続可能なマテリアルハンドリングの推進、株主のための価値創造、顧客の満足度、持続可能性、生産性を向上させるサポートを行っています。私たちは協力して、一挙一動を大切にしています。

事業を展開する地域で良き企業市民たること

Kalmarが支持する主な国際規約は、以下の通りです：

- ・ 国際人権章典
- ・ 国連 ビジネスと人権に関する指導原則、
- ・ 国連 グローバル・コンパクト、
- ・ 国際労働機関 (ILO) 労働における基本的原則及び権利に関する、および
- ・ OECD 多国籍企業向けガイドライン。

適用範囲

この行動規範は、Kalmar社を拘束する文書です。地理的な所在地や法人形態を問わず、Kalmarの全ての役員、幹部、従業員、Kalmar内の全ての会社、部門に適用されます。本規範は、Kalmarが株式の過半数を保有するか、実質的な支配権を行使しているその他の事業法人（例えば合併事業）の取締役、幹部および従業員にも適用されます。私たちは、ベンダー、取引先、請負業者やその他のビジネスパートナーが、私たちと同じ高い倫理基準を共有し、維持することを期待します。

私たちは、組織内での地位に関係なく、本行動規範を推進し、遵守することが求められています。更に、Kalmarのリーダーは規範の要件に従うだけでなく、チームが関連するジレンマに対応するために十分なトレーニングを受け、準備されていることを確認する必要があります。リーダーは更に必要に応じて指導を行い、自らの行動において常に高い倫理観とコンプライアンス基準を設定することが期待されています。

本行動規範の原語は英語です。翻訳文の間に矛盾が生じた場合は、英語の文書が優先されます。

声を上げる

Kalmarの行動規範に違反することにより、当社の従業員およびビジネスがリスクにさらされる可能性があります。それは、顧客、株主、およびその他利害関係者との間に築いてきた信頼関係を損なうことにもなります。当社の声を上げる文化と報復しないポリシーにより、私たちは、コンプライアンスに関する懸念や疑問を率直に提起し、議論し、指導を求めることができます。本行動規範に違反する行為に気付いた場合は、速やかに声を上げることが私たちに求められているのです。これは、違反の疑いや可能性がある場合にも適用されます。

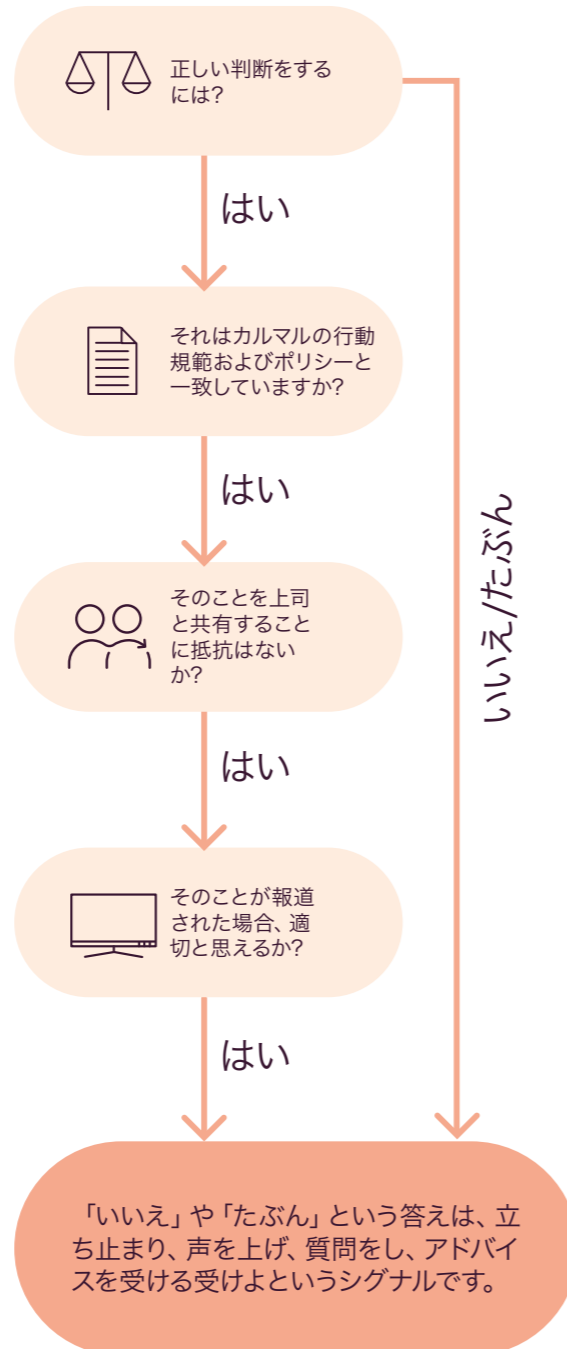
Kalmarでは、行動規範に関する懸念を提起するための複数の手段があります。直属上司、人事部または倫理・コンプライアンスチームに直接相談したり、スピークアップラインを利用することが出来ます。スピークアップラインは、コンプライアンス違反を報告するためのものです。また、名前を出して報告することが難しい場合、スピークアップラインを通じて匿名の報告も可能です。名前を出して報告する場合、Kalmarはその個人の身元を保護するために最善を尽くします。

報告を行う際には、客観的かつ正直に、案件に関連する全ての事実と詳細を提供し、可能であれば証拠を提出することが不可欠です。スピークアップラインに報告がなされると、倫理・コンプライアンスチームから報告者に回答が届きます。倫理・コンプライアンスチームは、追加の質問をしたり、更に多くの情報を求めたりすることもあります。

倫理・コンプライアンスチームは全ての報告を慎重に扱い、調査が必要かどうかを決めます。調査は全て、Kalmarの調査原則に基づいて、独立した客観的な方法で行われます。このプロセスでは機密が守られます。私たちは皆、調査に協力することが求められています。調査の結果、違反があったと判断された場合は、懲戒処分を含む是正措置が取られることがあります。報告者は、必要に応じて、調査結果に関するフィードバックを受けることができます。

Kalmarはハラスメントや被害を容認せず、可能性のある違反行為を誠実に報告した結果、仕事やキャリアに対して不利な結果を招くことはありません。但し、悪意のある虚偽の報告については、懲戒処分の対象となります。

意思決定モデル



人々と社会



人権と労働の権利

知るべきこと

- ・ 人権は誰に対しても平等に与えられるものです。
- ・ 人権には、思想や言論、表現や信仰の自由に対する全ての人々の権利、そして平和的集会の権利に加え、いかなる差別も受けない自由も含まれる。
- ・ 労働者の権利を含む人権の尊重は、Kalmarのビジネスを行う方法において不可欠な要素です。
- ・ 私たちKalmarは、国際的に認められている人権と、適用される労働関連の国内外の法律や規制を完全に遵守することを約束します。
- ・ 私たちは、従業員の代表者が差別されず、同僚の従業員と接触できるようにします。
- ・ 私たちは、サプライヤーを含む私たちのビジネスパートナーが、国際的に認められた人権および適用される労働関連の国内外の法律や規制の精神に則り、人権や労働権を尊重することを期待します。
- ・ 私たちは、人権または労働権の侵害が疑われる、または観察される場合には、直ちに直属上司またはスピークアップラインに報告します。

規範に沿ってどのように行動するか

- ・ 私たちは、常に人権および労働の権利を尊重します。
- ・ 私たちは、人権への悪影響を回避することを目指し、そのような影響が発生した場合は、常にその影響を緩和し、修正を行います。
- ・ 私たちは、自社の事業やサプライチェーンにおいて、強制労働、強制的な労働、人身売買またはそれに類するものを含む現代の奴隷制が行われていないことを保証することを約束します。
- ・ 私たちは、児童労働の使用に従事したり、支援することはいたしません。
- ・ 私たちは、従業員が自らの選択で労働組合のメンバーとなり、団体交渉する権利を含む、従業員の結社の自由を尊重します。

気を付けること

- ・ 私たちは、法の支配が緩い国や自由でオープンな民主的手続きの結果として発足していない政府の国とビジネスを行う際は、注意を怠りません。
- ・ 私たちは、既存または将来的なビジネスパートナーが人権または労働権を侵害している可能性があることを懸念しています。
- ・ 私たちは、正当な労働組合や労使協議会への参加が阻まれていること。



私たちは、事業活動やバリューチェーン全体において、人権を尊重します。





私たちは安全で健康的な職場環境を得る権利があります。

人々と社会

健康と安全

知るべきこと

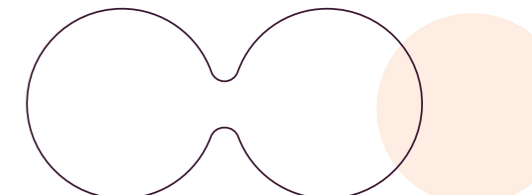
- ・ Kalmarで働く全ての人の安全と健康は、私たちの最優先事項です。
- ・ 私たちは、安全ではない方法で仕事をしない権利を責任を有しています。
- ・ 私たちには、安全ではない作業を中止する責任があります。私たち[2]注視する
- ・ Kalmarの健康と安全に関するポリシーと手順は、法律で定められた最低基準を超えたものであること。
- ・ Kalmarの健康と安全の基準は、Kalmarの施設で働いているか他の場所（例えば顧客の施設）で働いているかに関わらず適用されます。
- ・ 全ての直属上司は、安全で健康的な職場の提供を提供する責任があります。

規範に沿ってどのように行動するか

- ・ 時間やコスト、顧客からの圧力があっても、私たちは安全性に対し妥協することは決してありません。
- ・ 私たちは、自分自身や同僚、訪問者にとって安全で健康的な職場環境を作る責任があります。
- ・ 私たちは、常に業務に適用される全ての安全手順に従い、必要な安全装置全てを着用します。
- ・ 直属上司ならば、自分の部下が適用となる安全手順全てを知っており、これらを遵守することを約束する責任があることを理解しています。
- ・ 私たちは、安全で健康的な行動とベスト・プラクティスに対する意識を高めます。
- ・ 私たちは、危険な状況や安全上の問題を直ちに報告し、それらを改善し、学ぶために適切な行動を取ります。

気を付けること

- ・ あなたや他の人たちに対して健康や安全上のリスクをもたらす可能性のある危険な状態。
- ・ 壊れたまたは故障した装置や機械。
- ・ 必要な保護服や保護具を使用していない同僚。
- ・ 上司や同僚からの圧力により、安全面で近道を取ったり、安全性を損なうこと



職場環境

知るべきこと

- ・ 多様性は、事業が素晴らしい結果を達成するための資産です。
- ・ 性別、性同一性、性的指向、人種、宗教、国籍、年齢、身体的能力、またはこれらに類似したものにに基づく差別は認められません。
- ・ 私たちは皆、ハラスメントのない職場環境を得る権利があります。
- ・ 私たちは、同僚を不快にさせたり、敵対的な職場環境を作りだしたりするようないじめや脅し、または性的、人種的、宗教的なジョークなど、差別的、軽蔑的な言葉を容認しません。

規範に沿ってどのように行動するか

- ・ 私たちは同僚を尊重し、自分がされたいと思うように同僚に接します。
- ・ 私たちは、自分の職場環境について善意で懸念を表明した人に対し、報復することはありません。
- ・ 私たちは、セクハラを含むいかなるいじめやハラスメントにも関与せず、他人がそれを行っているのを見た場合は指摘します。
- ・ 私たちは、差別、ハラスメントなど不適切な行動を経験したり目撃した場合、声を上げます。
- ・ 私たちは、思想や視点の多様性を大切にしています。
- ・ 私たちは、同僚や上司に対し敬意をもって異議申し立てをし、その一方で敬意を持った異議申し立てを歓迎します。それによって私たちが成長し、会社が強化されることを知っているからです。
- ・ 私たちは、実力に基づく機会や報酬を提供し、性別、性同一性、性的指向、人種、宗教、国籍、年齢、身体的能力またはこれらに類するものによって差別することはありません。

気を付けること

- ・ 不適切な行動、ハラスメント、いじめなど
- ・ 同僚や候補者に対するあらゆる差別。
- ・ 虐待や差別に関して発言することに対する報復ややる気をなくさせること



私たちは、いじめやハラスメントがない、公正で差別のない職場環境を約束します。



プライバシー

知るべきこと

- ・ 業務または人事関係の関連で、個人情報の収集、使用および管理の必要がある場合があります。
- ・ 個人情報とは、デジタルまたは印刷形式であれ特定された、または特定可能な個人に関連する全てのデータを意味します。
- ・ 当社は一般データ保護規則 (GDPR) や、その他適用される欧州または地域のプライバシー方を遵守します。
- ・ 当社はプライバシーに関する方針やプライバシーに関する声明のほか、プライバシーに関する質問をサポートする研修や部署があります。
- ・ 外部関係者が当社に委託された個人情報を取り扱う場合、当社は個人情報処理契約の締結を締結する必要があります。

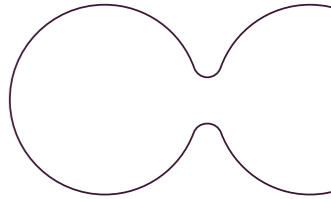
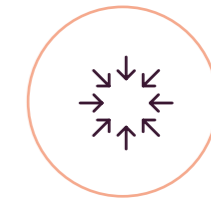
気を付けること

- ・ 個人情報の取扱いにおいて、不正な使用や不注意または不正な行為がある場合。
- ・ 個人情報の国際転送 (特に欧州連合外への転送) に関する制限の可能性。
- ・ 当社が委託した個人情報を取り扱う外部者および業者が関与するもの。
- ・ 個人情報を必要以上の、または法律で定められた期間以上に保管すること。
- ・ 必要以外の目的で個人情報を収集または利用すること。
- ・ 電子メール、ソーシャルメディア、会話などで、個人情報を誤って漏洩してしまうこと。
- ・ 指定されたストレージまたはシステム以外で個人情報を取り扱うこと。

規範に沿ってどのように行動するか

- ・ 当社は個人情報を合法的で、公平に、かつ透明性のある方法で収集し、使用します。
- ・ 当社は関連性のある情報を収集、使用し、収集された目的と期間に限って使用します。
- ・ 当社は個人情報の利用方法について本人に通知し、必要に応じて同意を得ます。
- ・ 当社は個人情報を機密かつ安全に保ちます。
- ・ 当社は個人に対するリスクを査定し、潜在的なプライバシー事故があれば報告します。
- ・ 当社の製品やサービスにより、優れたプライバシー慣行を可能にすることを保証します。
- ・ 当社では、使用する個人情報が最新のものであることを確認し、必要のない個人情報を保管しません。
- ・ 当社ではKalmar法務部から指示を仰ぎます。

当社は全ての個人のプライバシーを尊重し、保護します。



環境



気候および環境

知るべきこと

- ・ 私たちは、現地の法律や国際的に認められた環境基準を遵守しています。
- ・ 私たちは、環境に対する悪影響を軽減すべく努力し、地球の限界内で運用する必要性を認識しています。
- ・ 私たちは、当社の提供商品、業務や原材料の調達における環境面での影響を継続的に改善すべく取り組んでいます。
- ・ 私たちは、地球全体での温暖化を1.5°Cに抑えるべく、気候変動を緩和し、温室ガスの排出を削減する活動に取り組んでいます。

規範に沿ってどのように行動するか

- ・ 私たちは、全ての決定を行う際に環境を考慮します。
- ・ 私たちは、私たちの活動の気候や環境への影響を明らかにし、報告を行います。
- ・ 私たちは、環境面で影響を与える事象についてただちに報告し、修正すべく適切な行動を取り、これらの状況から学習します。
- ・ 私たちは、サプライヤーを含むビジネスパートナーが私たちの環境への取り組みを共有することを期待します。

気を付けること

- ・ 当社自身の事業またはビジネスパートナーが、関連する環境基準、法的要件または私たちのコミットメントを順守していないことを認識する。
- ・ 当社のソリューションや提供物の環境に対する影響を改善する機会を逃すこと。



私たちは、バリューチェーンを通じて環境への責任を果たします。

ガバナンス



汚職防止

知るべきこと

- ・ 贈賄を含む不正な慣行は非合法かつ不適切であり、禁止されています。これにより市場が歪められ、社会正義が危険にさらされ、その他数多くの種類の犯罪が助長されます。
- ・ 不適切な利益を得る、または誰かに不当な影響を及ぼすために、誰かに価値ある金品を提供、約束または譲渡することは違法です。
- ・ 私たちの誠実性またはKalmarへの忠誠心を損なう可能性のある金品の依頼または受領は違法であり、禁止されています。
- ・ 受領者が政府職員であれ、民間の市民であれ、賄賂は違法です。しかし、政府職員においては腐敗リスクがより高く、多くの場合より厳しい法令の対象となっていること。
- ・ 通常の政府業務を加速する目的での便宜支払金（少額の賄賂）も違法であり、禁止されています。

規範に沿ってどのように行動するか

- ・ 私たちは、透明性を持ち、かつ腐敗なく業務を行います。
- ・ 直接またはビジネスパートナーを通して、私たちは決して贈賄や腐敗行為に関与しません。
- ・ 私たちは決して、事業の獲得や維持、または不正な利益を受ける目的で、価値のある金品を授受しません。
- ・ 顧客や政府職員、またはその他ステークホルダーに価値のある金品を提供する前に私たちは方針を確認し、必要な承認を得ます。これは、贈答品または接待、顧客への旅行の提案、寄付、資金援助、および同様の取引において特に重要です。
- ・ 私たちは取引や業務状況を正確、完全かつ透明に反映すべく、帳簿や記録をつけます。
- ・ 私たちは、政府職員とやり取りを行う場合には、特別な注意を払います。
- ・ 疑問がある場合、ラインマネージャーまたは倫理・コンプライアンスチームから指示を仰ぎます。

- ・ 私たちは、疑わしいまたは実際の汚職行為に気づいた場合、ラインマネージャーまたは倫理・コンプライアンスチームか、スピークアップラインにただちに報告します。

気を付けること

- ・ 業務取引や記録の偽造または透明性の欠如。
- ・ 顧客や政府職員、または家族や同僚を含むその他ステークホルダーへの通常ではない、豪勢な、または過剰な贈答品、歓待または接待。
- ・ 適切かつ正当なビジネスパートナーとしてKalmar自体が認識していない特定のサプライヤーまたは個人との関与を求める、Kalmarの顧客やステークホルダーからの要請。
- ・ 過剰な、またはKalmarに対して行われた正当かつ検証可能なサービスに沿っていない、営業関連のビジネスパートナーまたは仲介業者への支払い。
- ・ Kalmarが関与する取引に対して未知の、または正体の分からない関係者。
- ・ 明確かつ検証可能な業務上の根拠のない、水増しされた支払いまたは請求書。



Kalmarは、汚職を決して容認しません。

贈答品および接待

知るべきこと

- ・ 贈答品および接待を授受することにより、私たちの誠実性やKalmarへの忠誠心が損なわれる可能性があります。
- ・ 不正な意図の隠蔽や、不適切な影響力を行使する目的での贈答品および接待の使用は、決して認められません。
- ・ 政府職員やその他のステークホルダーは、授受可能なものに関してより厳しい法令を遵守する必要があります。
- ・ 贈答品または接待を正確、完全かつ透明に反映するように、帳簿や記録をつけます。
- ・ 疑問がある場合、ラインマネージャーまたは倫理・コンプライアンスチームから指示を仰ぎます。
- ・ 不適切な贈答品または接待の使用の疑いがある、または実際に発生している場合、ラインマネージャーまたは倫理・コンプライアンスチームまたはスピークアップラインにただちに報告します。

規範に沿ってどのように行動するか

- ・ 贈答品または接待の授受により、業務上の意思決定に不当な影響を与える、あるいはそのような印象を与える可能性がある場合、私たちは決してかかる授受を行いません。
- ・ 私たちは、現地法で認められ、高額でなく、公かつ透明な状況であり、その実施が慣習となっている場合においてのみ、良心に基づいて贈答品を授受することができます。
- ・ 私たちは、現地法で認められ、高額でなく、公かつ透明な状況で行うべき正当な業務上の理由がある場合には、良心に基づいて接待を授受することができます。
- ・ 私たちは決して、現金または現金同等物、または贅沢で過剰な贈答品および接待を授受しません。
- ・ 私たちは政府職員に贈答品を提供しません。
- ・ 工場見学や現場見学を計画する場合、訪問の目的と内容、時間、費用および場所を必ず検討します。
- ・ 贈答品または接待を提供する前に、方針を確認し、必要な承認を得ます。

気を付けること

- ・ 贈答品または接待を、調達プロセス、継続中の交渉や争議といった、慎重に扱うべき状況で提供すること。
- ・ 顧客や政府職員、または家族や同僚を含むステークホルダーへの、通常ではない、豪勢な、または過剰な贈答品または接待。
- ・ 贈答品または接待が、何らかの行動の対価として授受されること。



贈答品および接待を授受する場合には、注意深く検討します。





私たちは最高の倫理的 基準 を約束し、同様の基準をビジネスパートナーにも要求します

ガバナンス

ビジネスパートナー

知るべきこと

- ・ ビジネスパートナーとは、サプライヤー、エージェント、ディーラー、代理店、技術コンサルタント、アドバイザー、入札パートナーなど、業務関連でKalmarが関わる外部の個人や企業全てを指します。
- ・ Kalmarでは、さまざまなビジネスパートナーと協力しており、当社の成功に不可欠な、重要なパートナーとしてみなしています。
- ・ ビジネスパートナーの行動により、当社が法的、財務的および評判面でのリスクにさらされる可能性があることから、ビジネスパートナーの使用によって、合法かつ倫理的に事業を行う当社の説明責任が損なわれてはいけません。

規範に沿ってどのように行動するか

- ・ 私たちは、正当な業務上の目的でのみビジネスパートナーを起用します。
- ・ 私たちは、ビジネスパートナーとの取引が完全に透明であり、適切な監査および確認の対象であることを保証します。
- ・ ビジネスパートナーに私たちが支払う対価は、検証可能なサービスに対するものである必要があり、その価格は公正な市場価格に関連して合理的なものである必要があります。
- ・ 私たちは、法的・倫理的義務を回避したり、犯罪や非倫理的な行動を起こしたり、取引の真の本質を不明瞭にするために、ビジネスパートナーを意図的に使うことはありません。
- ・ 私たちは、利用するビジネスパートナーの種類に応じた、内部管理、手続きおよび適性評価の要件に従います。
- ・ 私たちは、ビジネスパートナーがKalmarの基準に従った資格を有し、該当する法令を遵守することを期待します。第三者が、持続可能性、倫理およびコンプライアンスに対する私たちの取り組みを共有することが重要です。
- ・ 私たちは、ビジネスパートナーが活動する地域の環境に留意し、国際的な経済制裁、禁輸および軍事紛争の対象となっている国においては、細心の注意を払います。

- ・ 私たちは、誠実さの基準や期待をビジネスパートナーに明確に伝え、必要に応じて充実したトレーニングを提供します。
- ・ 私たちはビジネスパートナーが継続的に当社の基準を満たすように、サポートや監視を行います。

気を付けること

- ・ ビジネスパートナーが、汚職のリスクが高い国を拠点としていること。
- ・ ビジネスパートナーに、業務の経験や関連資格が欠けていること。
- ・ ビジネスパートナーが、過剰に多額の手数料や料金を要求したり、疑わしい方法での支払いを要求したりすること。
- ・ ビジネスパートナーが、現金で、または本拠地または契約を履行する国以外の通貨で支払いを要求すること。
- ・ ビジネスパートナーが、Kalmarの従業員に対して、現金またはその他の形態で、Kalmarでの仕事を獲得することを目的として、賄賂またはその他不適切な誘因を提供すること。
- ・ ビジネスパートナーが政府職員である、または政府職員と緊密な個人的、業務面または金銭面での関係を持っている。
- ・ ビジネスパートナーが、利益相反を示す、または利益相反の印象を与える可能性がある、Kalmarの従業員と個人的、業務面または金銭面での関係を持っている

利益相反

知るべきこと

- ・ 利益相反は、意思決定やその結果が皆の利益になるように見える場合でも、個人的な利益がKalmarの利益に反するか、または反すると認識される可能性がある場合に発生します。
- ・ かかる個人的利益は、金銭的または非金銭的な場合があります。
- ・ 私たちがKalmarの最大の利益のために行動していないかもしれないという印象によってさえ、当社の誠実性が疑問視され、当社の評判が影響を受ける可能性があります。
- ・ 業務中に私たちが行う全ての決定は、客観的であり、Kalmarの業務利益を念頭に置いて行う必要があります。

規範に沿ってどのように行動するか

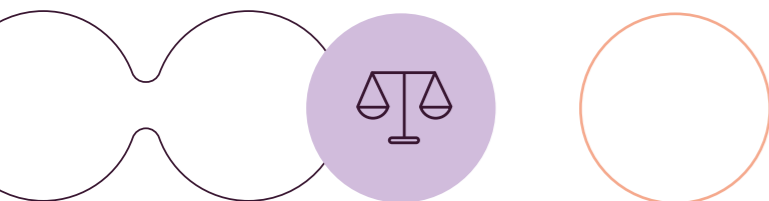
- ・ 私たちはKalmarの代表として行動する前に、利益相反の可能性を評価、認識し、回避します。
- ・ 私たちは、利益相反につながる、または利益相反の印象を与える可能性がある状況の種類を把握しています。
- ・ 私たちは、Kalmarの利益に相反するような印象を与える、または実際に相反する立場に、私たち自身を意図的に置くことはありません。
- ・ 私たちは、可能性のある、および認識された利益相反については公表し、関連する職務からの承認を求めます。
- ・ 利益相反の回避が不可能な場合、倫理・コンプライアンス・オフィサーに正式に関与してもらいます。

気を付けること

- ・ 私たちは、顧客やサプライヤーを含む、Kalmarと仕事を行う、またはKalmarとの仕事を求めている企業またはKalmarの競合会社において、当社にとって重要な金銭的利益がある状況に注意を払います。
- ・ 私たちは、Kalmarの業務に支障をきたす、あるいは支障をきたす可能性のある外部雇用に注意を払います。
- ・ 私たちの家族または親友がサプライヤーを所有または経営している場合に、Kalmarの事業を当該のサプライヤーに委託すること。
- ・ 当社の家族、親友または当社と密接な関係のある人物の採用プロセスへの参加 雇用または監督



私たちはKalmarの最大の利益のため
に行動を行い、あらゆる利益相反を避
けます。



公正な競争

知るべきこと

- ・ 私たちは、競争規則を厳密に遵守して業務を行うことに全力を注いでいます。
- ・ 違法な反競争的行為は、非公式な理解や行動、競合他社との協調行動、または強力な市場での地位の悪用など、様々な形で行われる可能性があります。
- ・ 競争法により、サプライヤーや販売業者との契約内容を定める企業の自由が制限されます。市場を支配する企業は顧客や競合相手、サプライヤーや販売店に対して不公平な扱いをできないことから、当該の企業に対する制限はさらに厳格になります。
- ・ 競争法は、合併や買収、研究開発における協力や、知的財産権を含む合意にも適用されます。
- ・ 競争法を違反した場合、Kalmarにとって非常に深刻な結果になる可能性があります。国によっては、競争法違反は個人の刑法犯罪となること。

気を付けること

- ・ 公的な情報源以外から競合他社についての情報を得ること。
- ・ 独占契約、非競争義務や割引慣行といった、当社が支配的なポジションまたは高い市場シェアを持つ市場において競争を制限する効果を持つ可能性のある活動。
- ・ 私たちが、価格設定や戦略、または事業戦略といった機密情報を持つ、現在または潜在的な競合他社、顧客またはビジネスパートナーから引き合いがあること。
- ・ 業界団体の会合への参加は認められているが、議論される話題が営業上の機密事項でないことに注意を払う必要があること。
- ・ 誤解を招く言葉により、正当な活動が疑わしいと思われる可能性があり、不注意な言葉遣いによりKalmarにとって深刻な結果が発生する可能性があること。

規範に沿ってどのように行動するか

- ・ 私たちは適用される競争規則を知る必要があり、Kalmarの競争ガイドンスを遵守します。
- ・ 競合相手と協力する場合、私たちは協力によって競争が制限されないようにし、競争の制限を目的としません。
- ・ 私たちは、価格設定や生産の詳細といった、営業上慎重な取り扱いを要する情報や戦略的な情報を、競合相手と交換しません。
- ・ 私たちが市場で強力なポジションにある場合、競争を制限する、また競争の制限を目的とするサプライヤーやディーラー、または顧客とは取り決めを行いません。
- ・ 私たちは、競争に関する懸念を直ちに法務部に報告し、競争案件に関して指示を仰ぎます。



私たちは公正に競争を行います。

インサイダー取引

知るべきこと

- ・ 内部情報とは、正確な特質を持ち、公表されておらず、仮に公表された場合にKalmarの金融商品の価格に大幅な影響を与える可能性のある、Kalmarに関連した情報全てを指します。
- ・ インサイダー取引とは、Kalmarの内部情報へのアクセスを通じて自身の利益のために金融商品を取引する不正行為を指します。
- ・ インサイダー取引および内部情報の使用はインサイダー法令で規制され、金融監督機関により監視されていること。上場企業としてKalmarが、インサイダー規制を受け、インサイダーリストを保持する必要があること。
- ・ インサイダーのプロジェクトに参加したり、グループ全体の財務情報へのアクセスすることにより、あなたもインサイダーとなる可能性があること。Kalmar法務部がインサイダーリストを保持しており、インサイダーとして登録される人にその旨を通告すること。
- ・ 自身またはその他の人に経済的利益をもたらす目的で内部情報が使用された場合、その行為が犯罪として罰せられる場合があること。

規範に沿ってどのように行動するか

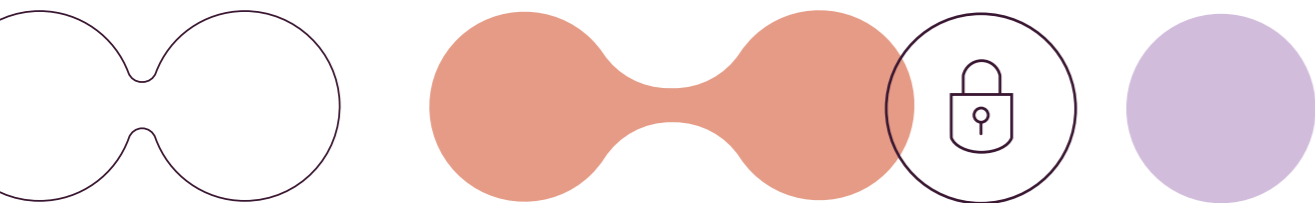
- ・ 私たちはKalmarの内部情報の機密を守っています。
- ・ インサイダープロジェクトに参加する場合、私たちは他のインサイダーとのみプロジェクトについて議論します。
- ・ 私たちは、Kalmarインサイダー規制で記載された取引規則を十分理解し、遵守します。
- ・ 私たちは金融商品の取引において内部情報を使用せず、例えば内部情報を有することで金融商品の売買が可能となる人にかかる情報を漏らしません。
- ・ 当社では態湮社法務部から指示を仰ぎます。

気を付けること

- ・ Kalmar法務部から、あなたがインサイダーリストに入っているという通知を受けること。
- ・ Kalmarの金融商品を取引する場合、Kalmarのインサイダー規制があなたに適用されるどうか確認すること。
- ・ 情報が内部情報かどうかわからない場合、機密情報として取り扱い、上司または法務部からの指示を仰ぐこと。
- ・ 実際の内部情報に加え、社内にはその他の種類の機密情報があること。機密情報セクションを参照のこと。



私たちは、Kalmarの株式、社債またはその他金融商品の取引において内部情報を使用しません。





私たちは機密情報を守ります。

ガバナンス

機密情報

知るべきこと

- ・ 機密情報とは、その性質上非公開であり、例えば商品やサービスに関連した、技術的な、営業上の、または財務上の情報です。
- ・ 私たちの業務では、しかるべき注意を払って取り扱う必要のある機密情報を保有する場合があります。
- ・ 機密情報を守ることで、法的リスク、競争力の喪失や評判上のリスクといった、マイナスの影響から会社が守られます。
- ・ 当社の画期的な作業方法や関連するノウハウも、機密情報とみなされる場合があります。

気を付けること

- ・ 印刷物や利用可能な物理的な文書などの機密情報を放置しておくこと、あるいはパソコンや携帯電話を他人がアクセス可能な状態に放置しておくこと。
- ・ オープンなオフィス環境、エレベーター、電車、飛行機やリモート業務中などに機密情報をオープンに議論すること。
- ・ 機密情報が不正アクセスにさらされた兆候に気付くこと。
- ・ 雇用終了後も、機密情報は安全に取り扱うこと。
- ・ インサイダー規制、知的財産権やプライバシーに関するより詳細な情報は、本行動規範の別のセクションに記載されています。

規範に沿ってどのように行動するか

- ・ 機密は、当社業務における基本理念です。情報の種類について確信が持てない場合、機密情報とみなします。
- ・ 私たちは、不正アクセス、開示および社内外における乱用から機密情報を保護します。
- ・ 私たちは他社の機密情報や知的所有権を尊重します。
- ・ 私たちは、Kalmarの機密情報を保護するのと同様、他者（例：パートナー、顧客、サプライヤー、従業員）の機密情報も保護します。
- ・ 機密情報を共有する前に、私たちはそれを行う権限があること、また受領者が業務遂行を目的として当該の情報を受け取る権限があることを確認します。
- ・ 私たちは、（必要な場合）パートナーと秘密保持契約を締結し、署名前に法務部に相談します。
- ・ 私たちは、アクセスが認可されていない機密情報に接した場合、情報の所有者に連絡し、必要な措置を講じます。

制裁制度と輸出管理

知るべきこと

- ・ 貿易体制により、特定の国や団体、個人との取引（貿易制裁）、または特定の商品および技術の取引（輸出管理）が制限される場合があります。
- ・ その目的は、例えば人権の保護や、軍事力の行使を回避するため、相手国の行動に変化をもたらすなど国家安全保障目標および/または対外目標を達成することです。
- ・ 貿易制裁に違反すると、Kalmarが法的、金銭面および評判面でマイナスの結果がもたらされる可能性があります。
- ・ Kalmarは、貿易制裁および輸出管理に関連したリスクを軽減するためのプロセスを導入しています。
- ・ 業務やプロジェクトの過程で、関係者が制裁を受ける可能性があります。そのような場合は法務部に連絡して直ちに審査してもらう必要があります。
- ・ 特定の商品または技術、特に軍事目的を持つ可能性のある商品を輸出または共有する場合には、輸出するためのライセンスまたはその他の許可が必要になる場合があります。そのような場合、法務または倫理&コンプライアンスに連絡して、輸出前に適切な承認が得られていることを確認する必要があります。
- ・ 輸出管理規制により、外部企業だけでなく、Kalmarの社内（関連会社、従業員、請負業者など）への輸出も制限される場合があります。
- ・ 管理されている情報を含む電子機器を国境を越えて運ぶことは、一部の制度の下では輸出と見なされます。

規範に沿ってどのように行動するか

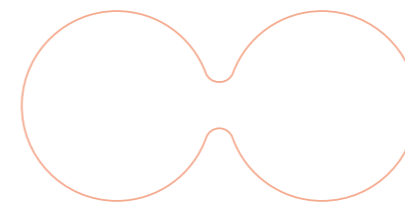
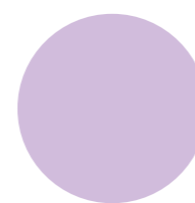
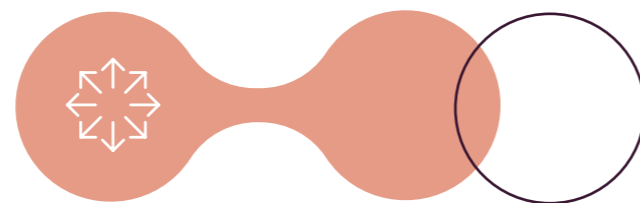
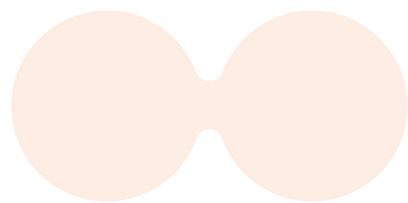
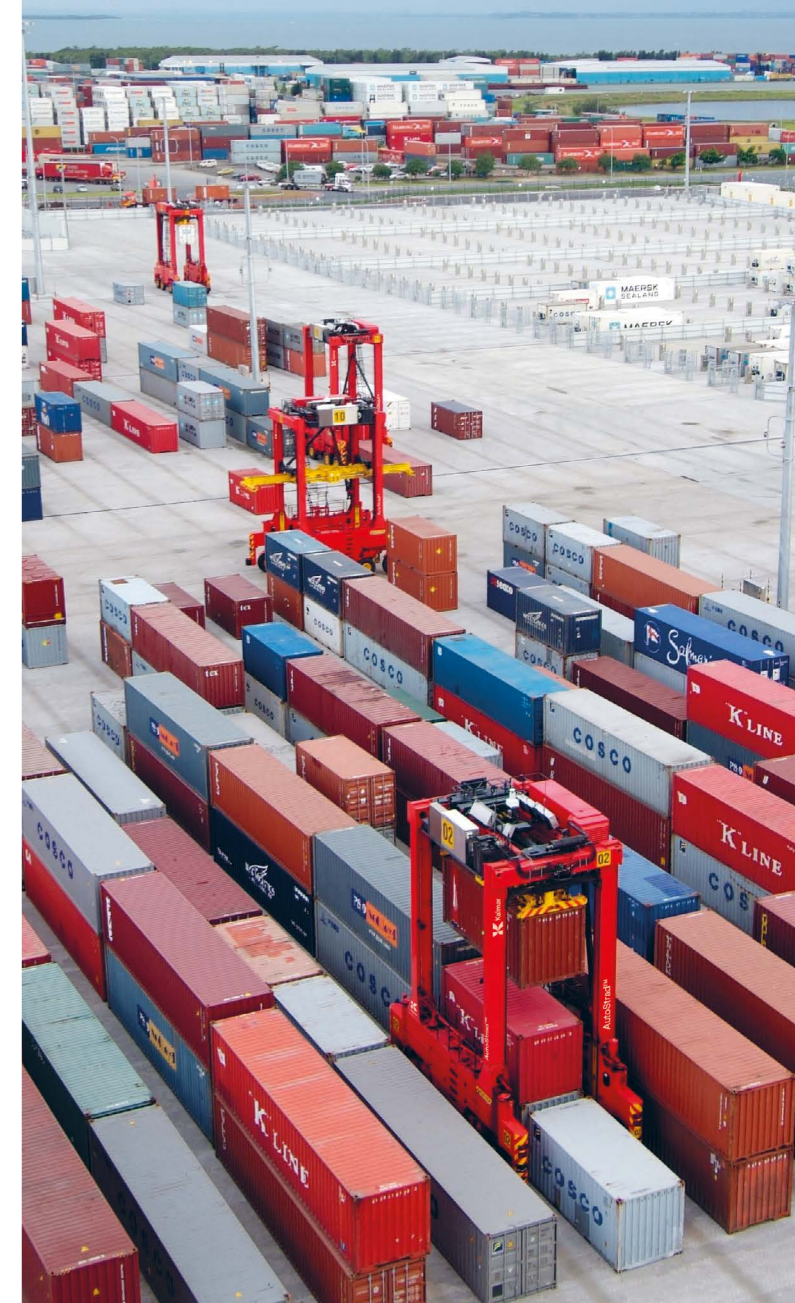
- ・ 私たちは、貿易制裁政策および輸出管理政策に従って該当する制裁体制および輸出管理を遵守し、該当する法令違反になる活動は行いません。
- ・ 私たちはプロセスに従って厳格に業務システムを使用し、適切な自動審査を行います。
- ・ 貿易制裁の警告を受けた場合、私たちは、契約または取引を行う前に貿易制裁プロセスに従ってその理由と事例を注意深く調査します。
- ・ 該当する輸出管理に従って品目を輸出し、必要に応じてライセンスと認可を取得します。
- ・ 当社では、輸出管理を遵守するために、輸出管理/機密データを必要に応じて安全なシステムに保存します。
- ・ 私たちは、当社商品やテクノロジーにライセンス要件が必要かどうか確認します。
- ・ 私たちは、組織内の適切なレベルで意思決定が行われ、必要に応じて保護措置を講じます。
- ・ 私たちは、貿易制裁とプロセスの認識を高めるよう努力します。

気を付けること

- ・ 業務システムにおける不完全な顧客データ。
- ・ 使用目的、エンドユーザー、納品日、場所など、顧客側から提供された情報が不明確、曖昧、または不完全である。
- ・ 実際の顧客に代わってビジネスパートナー、人工的な団体または代理団体を利用することで、制裁体制を回避する。
- ・ 顧客が制裁を受けた後の継続的な納品。
- ・ 軍事プロジェクト、特に製品が軍事基準を満たすように変更されている場合。
- ・ 輸出管理情報を参照する機密保持契約。
- ・ 情報が輸出管理されていることを示す文書のマーキング。
- ・ 軍事仕様を満たすための品目の変更。
- ・ 軍事目的で使用される可能性のある品目（通常は民生目的（例えば民生軍事両用「デュアルユース」）で使用される品目であっても）出張で持ち込まれる管理された品目とデータ、および電子メール、サーバーアクセス、またはその他の手段によって送信される管理対象のテクノロジー。
- ・ 品目が軍事最終用途に使用される疑いが生じる可能性のある最終用途/エンドユーザー、納期、および場所に関する顧客または第三者からの不明瞭、曖昧、または不完全な回答。



私たちは制裁体制と該当する輸出管理の下で、私たちの義務を果たす目的で方針や手順を維持します。





私たちは肯定的かつ建設的な精神で、積極的かつ開かれた対話を行う一方で、株式市場の通信における限界も認識しています。

ガバナンス

通信、メディアおよびソーシャルメディア

知るべきこと

- ・ 一企業としてKalmarは、全てのステークホルダーと積極的かつオープンにコミュニケーションをとることを目指しています。
- ・ 私たちは、ソーシャルメディアを含めて、社内外でブランドアンバサダーとして活動することが奨励されています。
- ・ 指定された人のみが、マスコミからの問い合わせにおいて会社を代表することができます。マスコミからの問い合わせは、Kalmarの広報部に依頼する必要があります。
- ・ Kalmarにおいて言論や意見の自由は大切ですが、企業としてのKalmarは直接的または間接的に、または金銭的もしくは別の形態のサポートにより、いかなる政治的、宗教的またはイデオロギー的な団体も支持しません。
- ・ 全ての財務諸表は、当社のインベスターリレーションズチーム、最高経営責任者、最高財務責任者または広報部門長を通じて行います。投資家やアナリストからの問い合わせは必ず、企業レベルのインベスターリレーションズに依頼する必要があります。
- ・ Kalmarは、暫定レポートまたは財務諸表発表前に3週間の沈黙期間を設けています。この期間中、私たちは企業の財務状況、市場、または将来見通しについてコメントを行わず、投資家やアナリストと会合を行わず、投資家会議にも参加しません。

規範に沿ってどのように行動するか

- ・ 私たちが会社のアンバサダーとして見なされる一方で、私たちは個人としての意見を表現しており、Kalmarの代わりにコメントしているのではないことを認識することが大切です。
- ・ 非公開または機密であることが意図されている情報は、いかなる内部フォーラムまたは外部フォーラムでも伝えないでください。
- ・ 私たちは、企業の評判に対する脅威をKalmar広報部に伝えることで、Kalmarの評判を保護する手助けをします。
- ・ Kalmarでは、思想の多様性と包摂的な対話が重要です。このため私たちは、社内外において敬意を持ってコミュニケーションを行うことが期待されています。
- ・ 私たちが政治、宗教やイデオロギー関係の活動に個人として参加する権利がある一方で、企業としてのKalmarは、かかる活動のいずれにも直接的または間接的に関連してはなりません。

気を付けること

- ・ Kalmarへの言及を、政治、宗教またはイデオロギーのメッセージに結びつけること。
- ・ 未発表の財務情報または非公開の社内機密情報を、友人や家族と共有したり、公的な場所で議論したりすること。
- ・ 公的イベントでKalmarを代表して公式な発表を行うこと。
- ・ 人種、性別、年齢、宗教、性的指向、国籍またはその他全ての側面に基づいて他人に対する恐喝、ハラセメントまたは差別になる可能性のある内容のメッセージを、ソーシャルメディアを含めて、社内外に配信すること。

財務の健全性、詐欺およびマネーロンダリング

知るべきこと

- ・ 財務の健全性とは、財務帳簿や記録に関する強さ、安全性と誠実性を意味します。財務の健全性は、株主、顧客および従業員の信用を維持する鍵となります。
- ・ 詐欺とは、Kalmarまたは他者を犠牲にして、または不利益を被って、直接的または間接的な個人的利益を得る目的で、計画的にだます行為を指します。私たちは、いかなる形態の詐欺に関与したり、詐欺を支援しません。
- ・ マネーロンダリングは、犯罪行為により得られた資金を、合法的な収入源から得られたように見せかける違法なプロセスです。
- ・ 国際財務報告基準を満たすことは義務であるだけでなく、これによって当社は業務を適切に管理できるようになります。
- ・ Kalmarが取引記録や資産を適切に分類および記録し、財務データを正確かつ一貫した形で示すべく、適切な管理を実施します。
- ・ 反マネーロンダリングの法令や財務の健全性に関連した法律に違反すると、風評被害、財務、および刑事責任のリスクにつながります。

規範に沿ってどのように行動するか

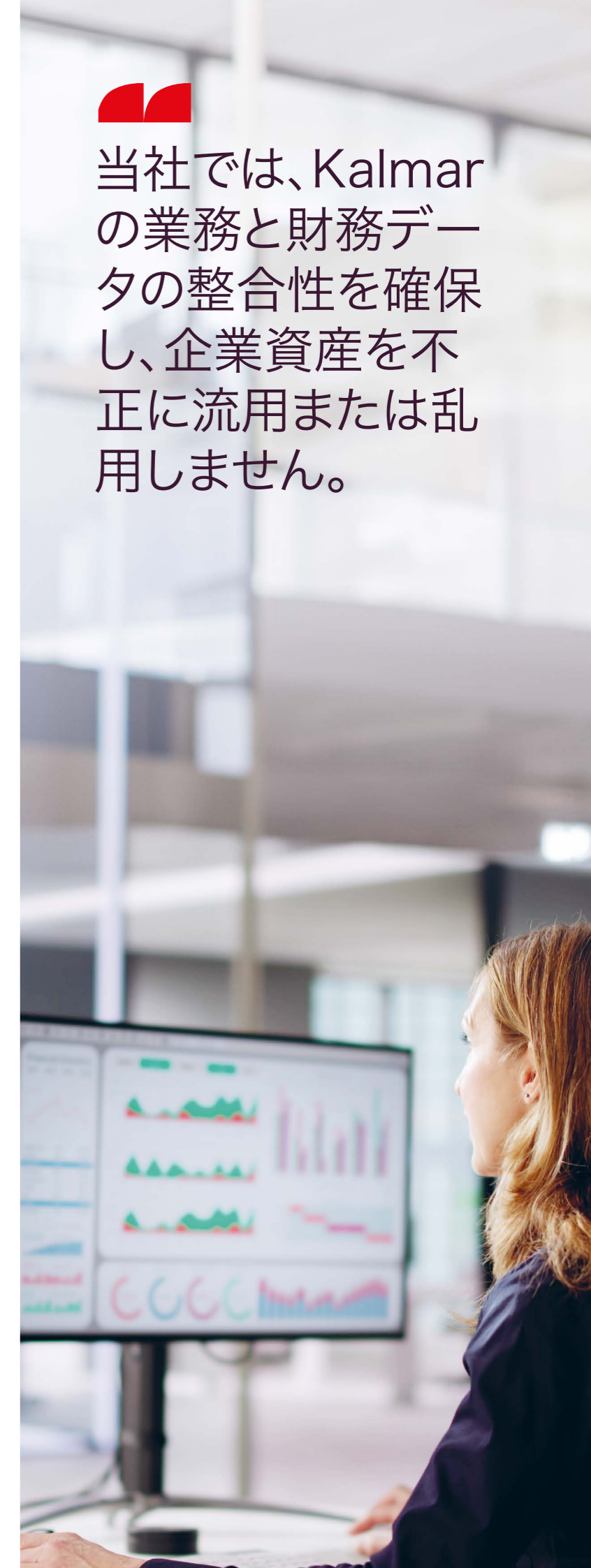
- ・ 私たちは、Kalmar会計基準に従い、Kalmarが導入した内部管理を遵守します。
- ・ 私たちは、法的義務と優れた会計の実践に従って、全ての取引を正しく記録します。私たちは正確に、透明性と一貫性をもってタイムリーに報告を行います。
- ・ 私たちは、運用基準や結果を含む、Kalmarの財務取引と資産の記録を完全かつ正確な形で保持し、完全な監査証跡を保証します。
- ・ 私たちは、適用されるKalmar当局の基準に従って意思決定を行い、該当する場合は職務の分離を実施します。
- ・ 私たちは、取引の承認または文書への署名を行う前に、事実と情報の完全性、およびその基盤となる業務の根拠を確認します。
- ・ 私たちは不正な記録を作成したり、文書を偽造したり、または事実、取引または財務データを不正確に伝えたりしません。
- ・ 私たちは、通常とは異なる支払いや銀行取引を問題として取扱い、通常とは異なる要求を報告します。
- ・ 私たちはKalmarの資金を使う場合、費用が妥当であり、適切に記録されていることを確認します。
- ・ 私たちは全ての形態のマネーロンダリングに断固反対し、Kalmarの手続きに従ってパートナーの審査や監視を行うことで、これを防止します。
- ・ 私たちは、テロリストへの資金供与または同様の活動を支援する可能性のある支払いを拒否します。

気を付けること

- ・ 疑わしい財務取引。例えば日付の誤り、誤解を生む説明、虚偽の費用や注文書、不正確なタイムシートやバウチャー。
- ・ 偽造されたように見える文書。
- ・ 基本的に業務上の意味がない取引や、実際の営業実績と一致しないように見える財務結果。
- ・ 従業員の権限レベルと矛盾した取引や行動に対する適切な審査を回避するための努力。
- ・ 海外の銀行口座から受け取った支払い。
- ・ 当該者が通常使わない銀行口座から受け取った支払い。
- ・ 通常は現金では支払われないが、現金で受け取った支払い。
- ・ 取引において合意されたものと異なる方法で要求または実施された支払い。



当社では、Kalmarの業務と財務データの整合性を確保し、企業資産を不正に流用または乱用しません。





私たちは自社の資産を保護します。

ガバナンス

資産

知るべきこと

- ・ 物理的および非物理的資産により、当社は業務を遂行し、卓越することができます。これら資産には、当社施設、オフィス装置に加え、特許や商標、著作権保護された商品等、企業秘密、ノウハウまたは類似物といった知的所有権などが含まれます。
- ・ 私たちは皆、当社資産の保護と維持に責任を負っており、これにより私たちは義務を遂行し、成長することができます。
- ・ 当社には、当社の資産に損害を与え、財務、運営、評判または競争面での損失につながり得る事象を防止および検出する管理の仕組みがあります。

規範に沿ってどのように行動するか

- ・ 自社内または顧客の敷地、あるいは自宅からリモートで働く場合でも、私たちは全員、常識を働かせ、該当するガイドラインや方針に従うことで、当社資産を積極的に保護します。
- ・ 私たちは、競争相手や顧客など、他者の知的所有権を含む資産を尊重します。
- ・ 私たちは、新しい発明について、ラインマネージャーや新しい発明の連絡窓口に伝えます。
- ・ 私たちは、アクセスカードとキー、システム認証情報、パスワード、PINコードなどの情報を、社内外の誰とも共有しません。私たちは装置やアプリケーションを最新に保ち、適切なパスワードを使用し、異なるアプリケーション間で同じパスワードを再利用しません。
- ・ 私たちは会社の資産を、あたかも自分自身の資産のように、盗難や乱用、紛失から守り、適切な許可なく貸与、売却または譲渡しません。
- ・ 私たちは、全てのデータセキュリティ違反について、直ちにラインマネージャーまたはITサポートに報告します。
- ・ 私たちは、資産関係の損害やメンテナンスの必要性を直ちに、ラインマネージャーや責任者に報告します。

気を付けること

- ・ 損傷、紛失や盗難から適切に守られていない、または適切な許可や文書なしで資産を処分する行為。
- ・ 許可されていない人が当社の敷地内にいること。
- ・ 電子メールやSMSは偽装が容易なため、通常とは異なる要求をすること。
- ・ ビジネスパートナーからの、未検証の新しいシステムまたはツールの使用要求。
- ・ 内部セキュリティ通知と説明。



ESTIBAPORT
Kalmar

JCARRION

mazo SJL

4x4



Kalmar

www.kalmarglobal.com

Published by Kalmar, Copyright © Kalmar Corporation 2024.
All rights reserved.

